

市民アンケート集計結果(速報版)

本調査は、一般廃棄物処理にかかる課題等について船橋市民の意見を把握し、一般廃棄物処理基本計画の見直しを行う上で、参考とすることを目的として実施した。

調査対象は、船橋市内在住の満 18 歳以上の市民計 1, 500 人とし、調査対象の抽出方法は、多段抽出（地域、年齢、性別）とした。

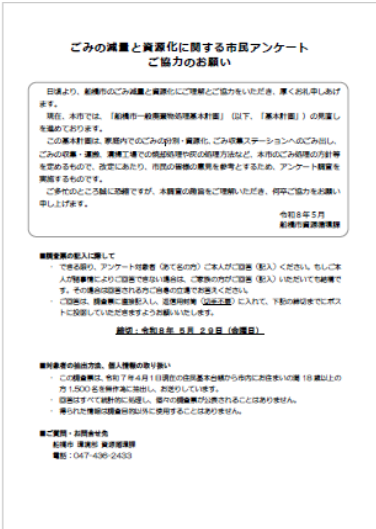
調査方法は、郵送によりアンケート用紙を配布し、返信された回答用紙についてデータ整理を行った。

市民アンケートの調査期間を以下に示す。

- ・アンケートの発送 : 2026 年 5 月 1 日 (金)
- ・アンケート回収期限 : 2026 年 5 月 29 日 (金)

アンケートの回収率は、46.1%であった。アンケート回収状況について以下に示す。

- ・アンケート発送数 : 1, 500件
- ・無効数（宛先不明等） : 7件
- ・有効数 : 1, 493件（アンケート発送数－無効数）
- ・アンケート回収数 : 689件
- ・アンケート回収率 : 46.1%（アンケート回収数÷有効数）



アンケート案内状

なお、本資料は速報版であり、確定版については、第2回審議会にてご報告をするものとします。

アンケートの設問内容

実施したアンケートの設問内容を以下に示す。

I あなた自身とご家族について		
	問1	(1) 性別
		(2) 年齢
		(3) 居住年数
	問2	(1) 世帯員数
		(2) 紙おむつの使用有無
		(3) 紙おむつ使用世帯状況
		(4) 紙おむつ使用者（乳幼児）数
		(5) 紙おむつ使用者（乳幼児以外）数
	問3	(1) 住居形態
(2) 集合住宅建物敷地内のごみ収集ステーションの有無		
問4	(1) 居住町名	
II 家庭ごみの分別・処理について		
	問5	(1) 資源物の分別状況
		(2) 分別をしていない理由
	問6	(1) 市の分別収集以外の資源物の主な排出先
	問7	(1) 雑がみの分別状況
		(2) 雑がみとして分別している品目
		(3) 雑がみの分別をしていない理由
III ごみの減量化や処理に関する情報提供について		
	問8	(1) ごみに関する情報の入手先
IV ごみ問題への関心について		
	問9	(1) 市が実施している取組の認知状況
	問10	(1) ごみに関しての困りごと
V 家庭から出る可燃ごみの有料化について		
	問11	(1) 家庭から出る可燃ごみの有料化への意向
	問12	(1) 家庭から出る可燃ごみの有料化を実施すべき理由
	問13	(1) 家庭から出る可燃ごみの有料化を実施すべきではない理由
VI 家庭から出る可燃ごみの収集日について		
	問14	(1) 平日収集のみへの変更について
	問15	(1) 平日収集のみにする理由
	問16	(1) 土曜日収集を継続する理由
VII 家庭から出る可燃ごみの夜間収集について		
	問17	(1) 昼収集か夜間収集
	問18	(1) 昼収集のみへの変更について
	問19	(1) 昼収集のみにする理由
	問20	(1) 夜間収集を継続する理由
VIII プラスチック製容器包装の分別収集について		
	問21	(1) プラスチック類の分別収集について
	問22	(1) プラスチック類の分別収集を実施すべき理由

	問23	(1) プラスチック類の分別収集を実施すべきではない理由
IX 食品ロスの削減について		
	問24	(1) 食品ロスの認知状況
	問25	(1) 食品ロス削減のための家庭での取組
	問26	(1) 食品ロス削減のための外食時での取組
X 現在と今後の取組について		
	問27	(1) 現在実施している取組
		(2) 今後実施予定の取組
自由意見		

調査結果

実施したアンケートの調査結果を以下に示す。各設問の「未回答」には無効回答を含む。単一回答の設問において、複数の回答を選択されていた場合は回答数に応じて按分を行った。また、構成比は四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

表 1-1 性別回答数

選択肢	回答数	構成比
1. 男	258	37.4%
2. 女	427	62.0%
3. その他	1	0.1%
未回答	3	0.4%
合計	689	100%

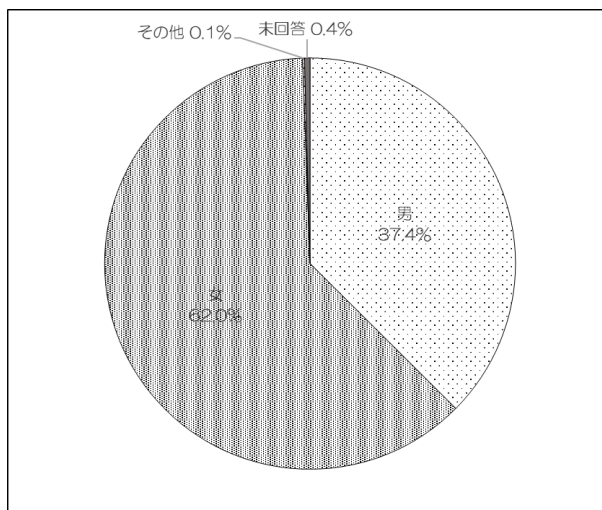
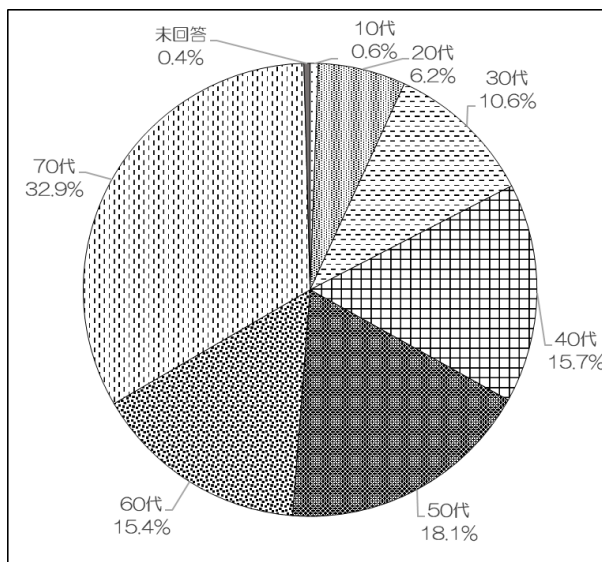


表 1-2 年代別回答数

選択肢	回答数	構成比
18歳未満	—	—
1. 10代	4	0.6%
2. 20代	43	6.2%
3. 30代	73	10.6%
4. 40代	108	15.7%
5. 50代	125	18.1%
6. 60代	106	15.4%
7. 70代以上	227	32.9%
未回答	3	0.4%
合計	689	100.0%



※令和 7 年 4 月 1 日現在

※10代は 18～19 歳

表 1-3 居住年数別回答数

選択肢	回答数	構成比
1. 2年未満	9	1.3%
2. 2年以上～5年未満	45	6.5%
3. 5年以上～10年未満	59	8.6%
4. 10年以上～20年未満	115	16.7%
5. 20年以上～30年未満	148	21.5%
6. 30年以上	307	44.6%
未回答	6	0.9%
合計	689	100.0%

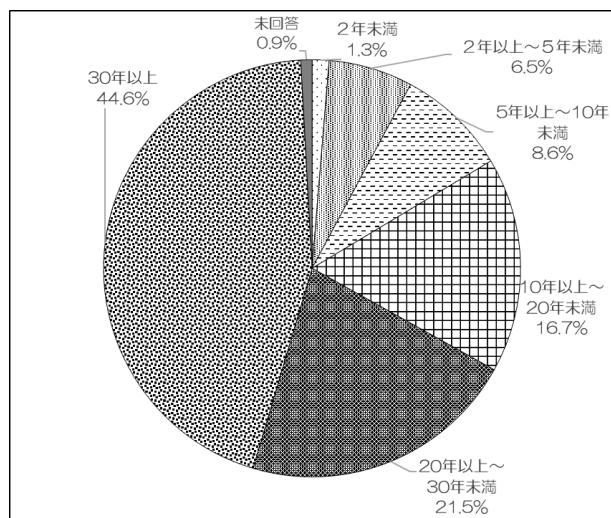


表 1-4 世帯員数別回答数

選択肢	回答数	構成比
1. 1人	118	17.1%
2. 2人	247	35.8%
3. 3人	155	22.5%
4. 4人	118	17.1%
5. 5人	32	4.6%
6. 6人	5	0.7%
7. 7人	1	0.1%
8. 8人	0	0.0%
9. 9人	0	0.0%
未回答	13	1.9%
合計	689	100%

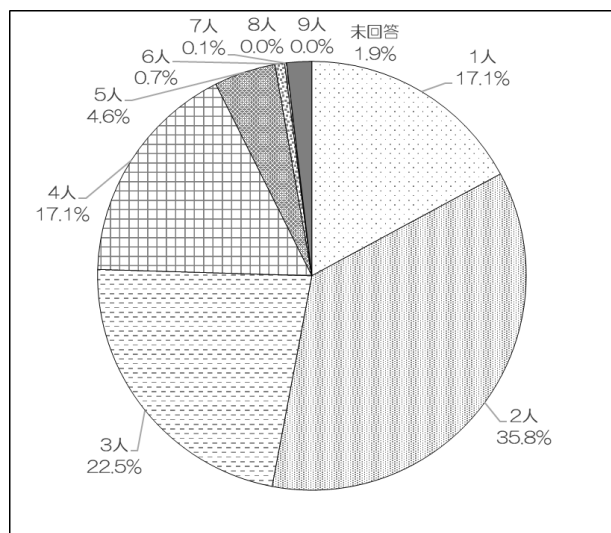


表 1-5 紙おむつの使用有無別回答数

選択肢	回答数	構成比
1. 使用していない	600	87.1%
2. 使用している	48	7.0%
未回答	41	6.0%
合計	689	100.0%

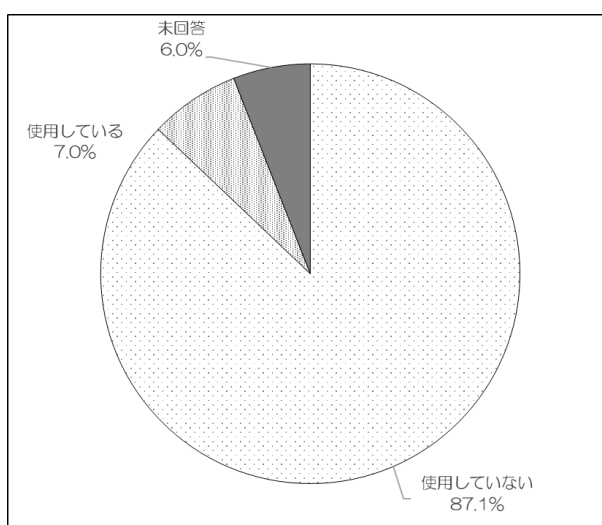
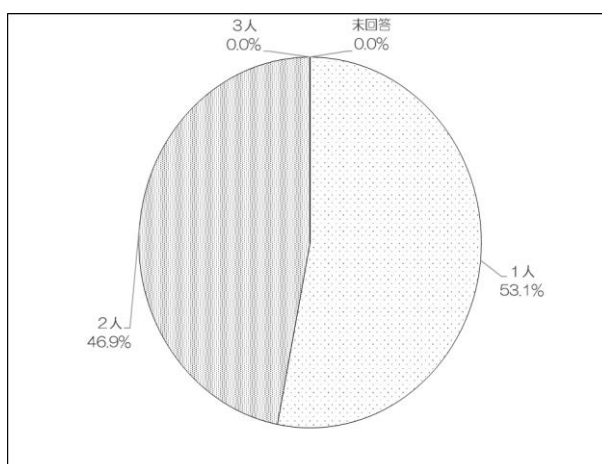


表 1-6 紙おむつ使用世帯状況別回答数

選択肢	回答数	構成比
1. 乳幼児	26	53.1%
2. 乳幼児以外	23	46.9%
3. 乳幼児及び乳幼児以外	0	0.0%
未回答	0	0.0%
合計	49	100.0%



※1. 乳幼児 2. 乳幼児以外 両方回答者が1名いるため、合計が1人多い

表 1-7 紙おむつ使用者数（乳幼児）別回答数

選択肢	回答数	構成比
1. 1人	21	80.8%
2. 2人	5	19.2%
3. 3人	0	0.0%
合計	26	100.0%

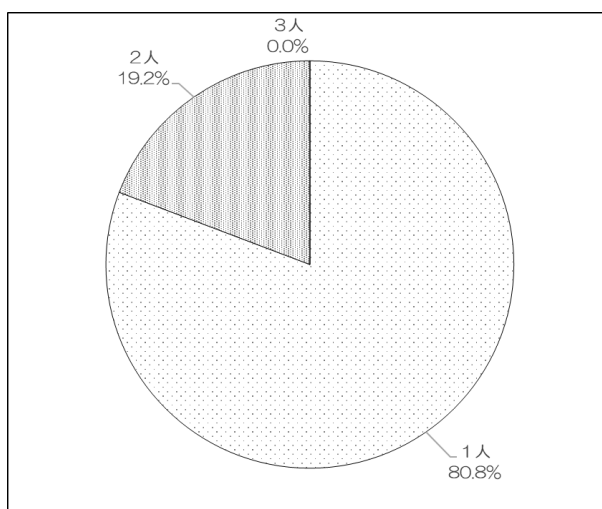


表 1-8 紙おむつ使用者数（乳幼児以外）別回答数

選択肢	回答数	構成比
1. 1人	21	91.3%
2. 2人	2	8.7%
1. 3人	0	0.0%
合計	23	100.0%

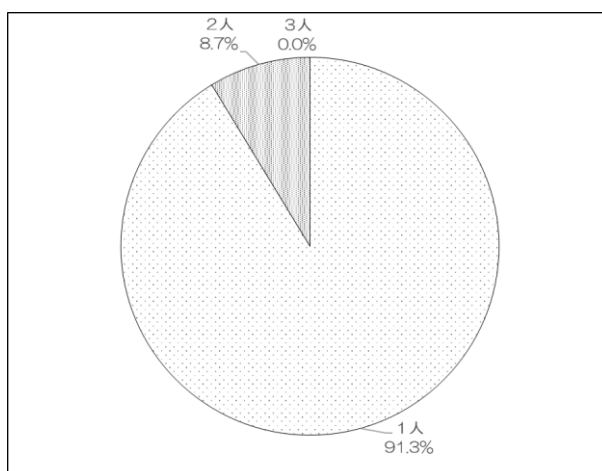


表 1-9 居住形態別回答数

選択肢	回答数	構成比
1. 集合住宅（長屋建て含む）	311	45.1%
2. 戸建て住宅	374	54.3%
未回答	4	0.6%
合計	689	100.0%

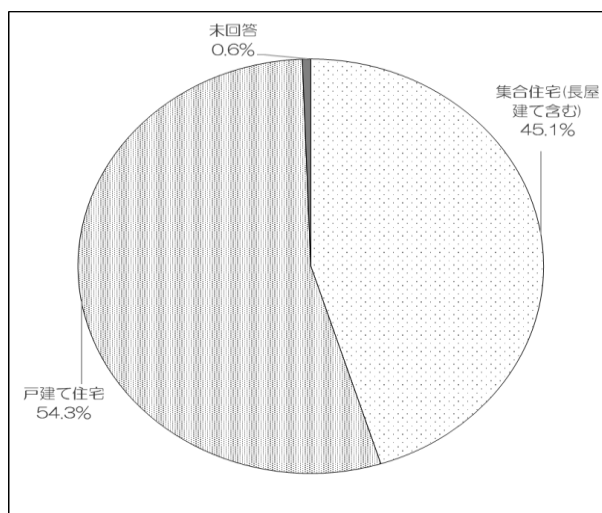


表 1-10 集合住宅建物敷地内のごみ収集ステーションの有無別回答数

選択肢	回答数	構成比
1. ある	288	92.6%
2. なし	17	5.5%
未回答	6	1.9%
合計	311	100.0%

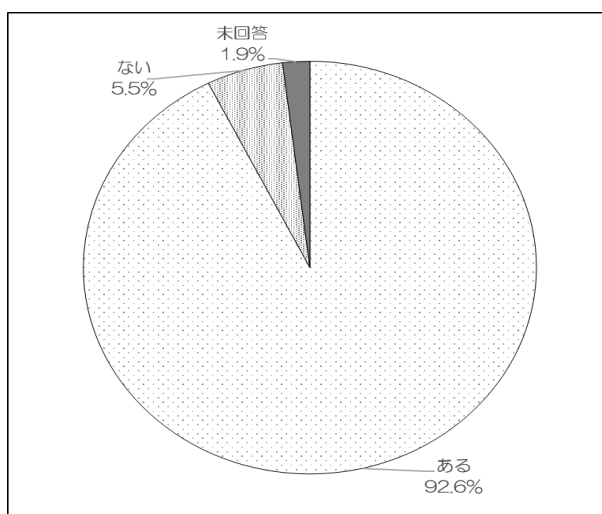


表 1-11 居住地域別回答数

区域	回答数	構成比	(参考) ※人口比
南部	124	18.0%	19.2%
西部	159	23.1%	24.6%
中部	81	11.8%	12.8%
東部	198	28.7%	26.8%
北部	121	17.6%	16.6%
未回答	6	0.9%	—
合計	689	100.0%	100%

※令和7年4月1日現在

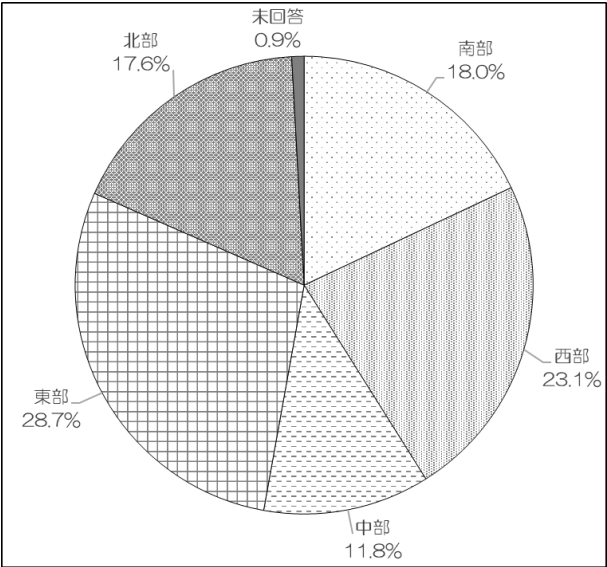


表 1-12 品目別の資源物の分別

選択肢		1.きちんと分別している	2.だいたい分別している	3.あまり分別していない	4.分別してない	5.ごみとして出したことがない	6.未回答	合計
小型家電	回答数	421	61	19	16	150	22	689
	構成比	61.1%	8.9%	2.8%	2.3%	21.8%	3.2%	100.0%
小型充電式電池	回答数	380	82	14	9	179	25	689
	構成比	55.2%	11.9%	2.0%	1.3%	26.0%	3.6%	100.0%
鍋・やかん等	回答数	556	41	6	9	60	17	689
	構成比	80.7%	6.0%	0.9%	1.3%	8.7%	2.5%	100.0%
スプレー缶	回答数	588	41	6	9	29	16	689
	構成比	85.3%	6.0%	0.9%	1.3%	4.2%	2.3%	100.0%
蛍光灯	回答数	455	66	6	6	136	20	689
	構成比	66.0%	9.6%	0.9%	0.9%	19.7%	2.9%	100.0%
割れた蛍光灯	回答数	379	61	8	9	212	20	689
	構成比	55.0%	8.9%	1.2%	1.3%	30.8%	2.9%	100.0%
乾電池等	回答数	526	89	19	16	23	16	689
	構成比	76.3%	12.9%	2.8%	2.3%	3.3%	2.3%	100.0%

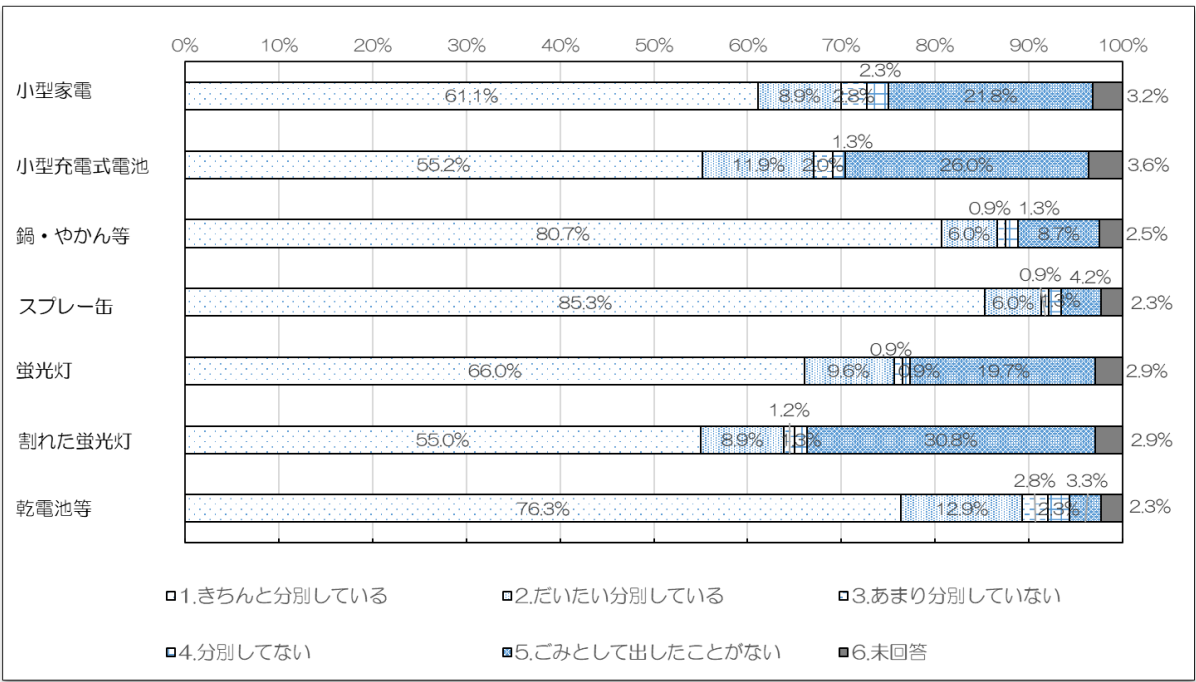


表 1-13 品目別の分別をしていない理由

選択肢		1.面倒だから	2.分別や排出方法がわからないから	3.ごみの減量やリサイクルに関心がないから	4.少量であれば問題ないと思うから	5.小型家電回収ボックスが近くにないから	6.その他	未回答	合計
小型家電	回答数	2	10	0	0	14	9	0	35
	構成比	5.7%	28.6%	0.0%	0.0%	40.0%	25.7%	0.0%	100.0%
小型充電式電池	回答数	3	17	0	0	0	3	0	23
	構成比	13.0%	73.9%	0.0%	0.0%	0.0%	13.0%	0.0%	100.0%
鍋・やかん等	回答数	0	8	0	0	0	7	0	15
	構成比	0.0%	53.3%	0.0%	0.0%	0.0%	46.7%	0.0%	100.0%
スプレー缶	回答数	0	11	0	0	0	3	1	15
	構成比	0.0%	73.3%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	6.7%	100.0%
蛍光灯	回答数	2	6	0	0	0	4	0	12
	構成比	16.7%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	100.0%
割れた蛍光灯	回答数	2	8	0	1	0	5	1	17
	構成比	11.8%	47.1%	0.0%	5.9%	0.0%	29.4%	5.9%	100.0%
乾電池等	回答数	3	17	0	2	0	9	2	33
	構成比	9.1%	51.5%	0.0%	6.1%	0.0%	27.3%	6.1%	100.0%

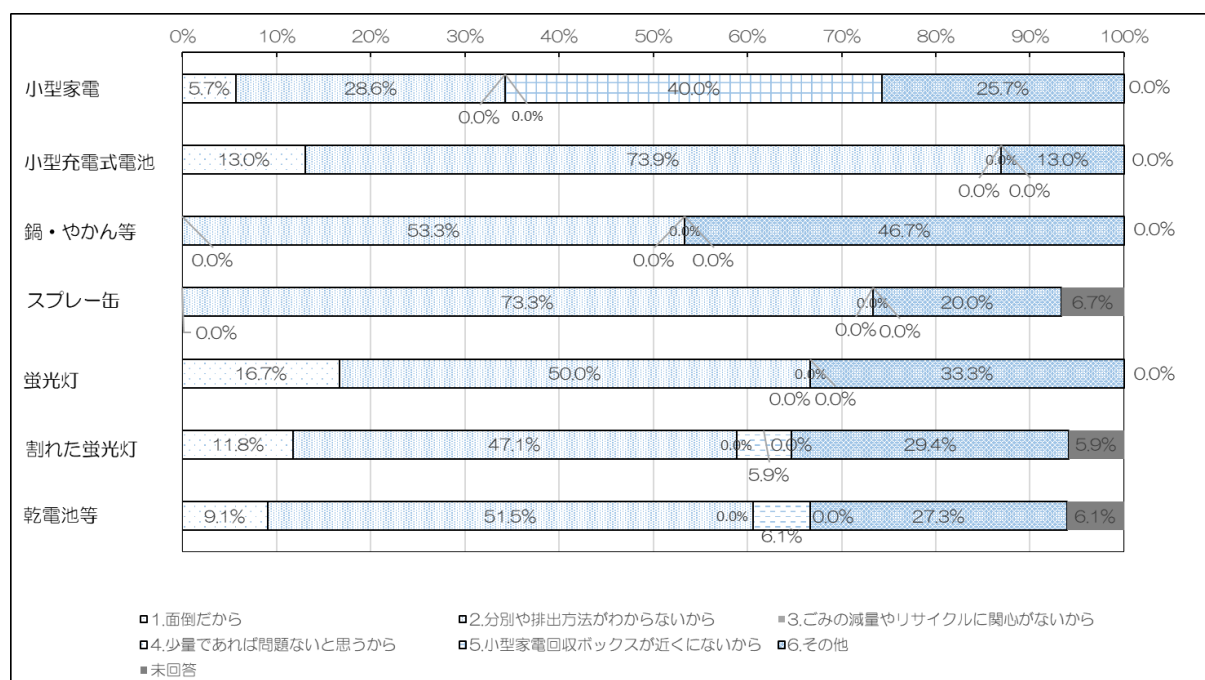


表 1-14 品目別の市の分別収集以外の資源物の主な排出先

選択肢		1.有価物回収	2.スーパーなどの店頭回収	3.新聞業者の回収	4.その他	未回答	合計
新聞・チラシ	回答数	288	22	154	158	80	702
雑誌・雑がみ	回答数	422	26		125	117	690
ダンボール	回答数	478	37		0	67	582
牛乳パック	回答数	218	174		189	115	696
古着	回答数	431	20		132	113	696
ペットボトル	回答数		166		134	389	689
空缶・空ビン	回答数		106		148	433	687
プラスチックトレイ類	回答数		178		145	367	690

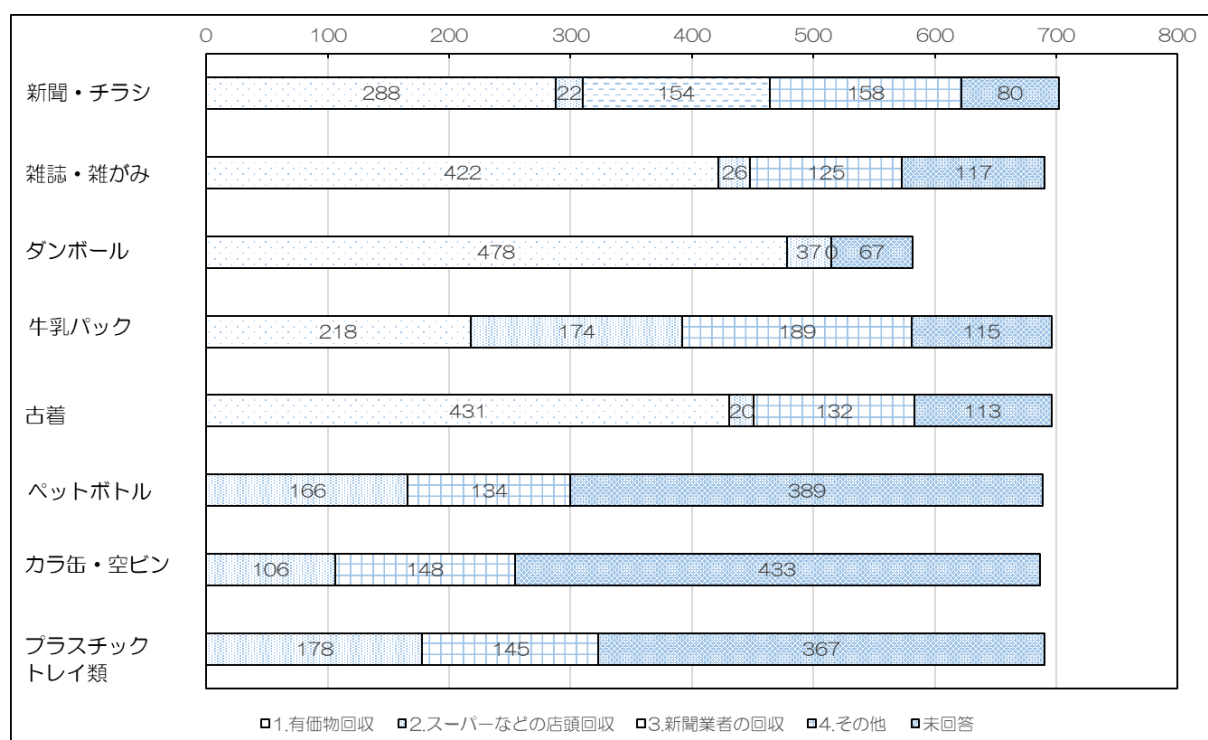


表 1-15 雑がみの分別状況

選択肢	回答数	構成比
1. きちんと分別している	207	30.0%
2. だいたい分別している	253	36.7%
3. あまり分別していない	105	15.2%
4. 分別していない	116	16.8%
未回答	8	1.2%
合計	689	100.0%

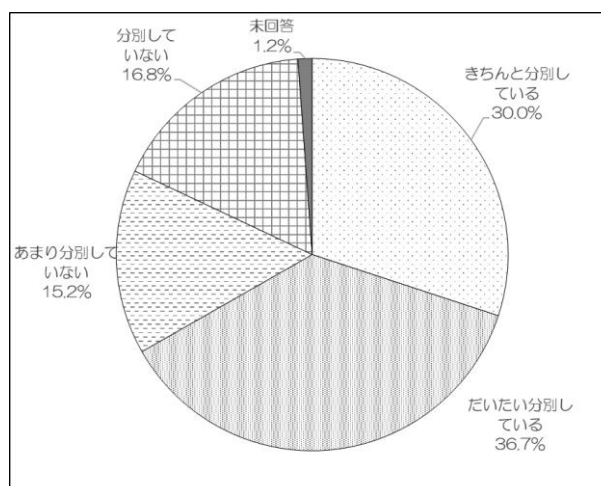


表 1-16 雑がみとして分別している品目

選択肢	回答数	回答割合
1.ティッシュの箱（ビニール除く）	304	44.1%
2.菓子や食品の箱	339	49.2%
3.カレンダー（金具などは除く）	240	34.8%
4.紙袋（持ち手が紙以外の場合は持ち手を除く）	267	38.8%
5.ラップ・トイレットペーパーの芯	231	33.5%
6.封筒・ハガキ	154	22.4%
7.装紙や」折り紙	234	34.0%
8.タグや名刺	79	11.5%
9.プリント用紙	175	25.4%
10.その他	25	3.6%
未回答	21	3.0%
合計	2069	—
回答者数	689	—

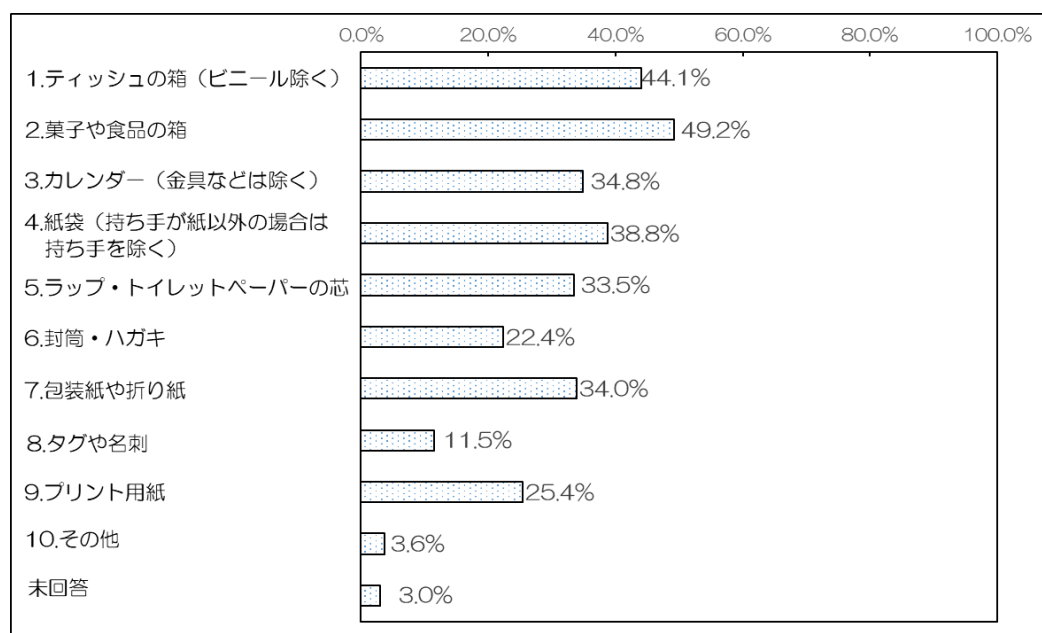


表 1-17 雑がみの分別をしていない理由

選択肢	回答数	回答割合
1.面倒だから	51	23.1%
2.分別や排出方法がわからないから	91	41.2%
3.ごみの減量やリサイクルに関心がないから	2	0.9%
4.少量であれば問題ないと思うから	66	29.9%
5.その他	30	13.6%
未回答	3	1.4%
合計	243	—
回答者数	221	—

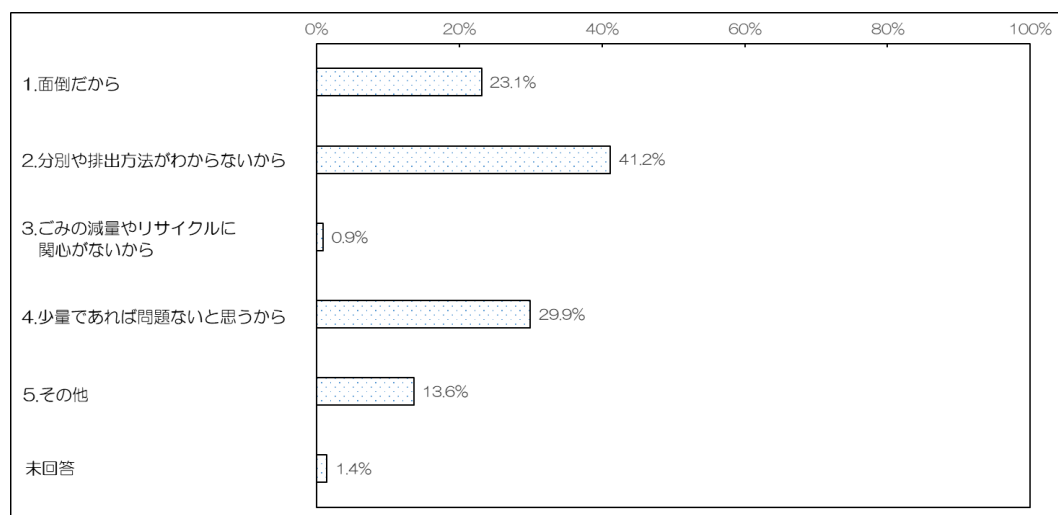


表 1-18 ごみに関する情報の入手先

選択肢	回答数	回答割合
1.広報ふなばし	197	28.6%
2.家庭ごみの出し方（ごみの出し方カレンダー）	501	72.7%
3.リサちゃんだより+（プラス）	36	5.2%
4.船橋市ホームページ	200	29.0%
5.地区・地域での説明会	3	0.4%
6.市主催のイベント等	1	0.1%
7.スマートフォン向けごみ分別アプリ「さんあ〜る」	72	10.4%
8.地域の回覧板	45	6.5%
9.その他	16	2.3%
未回答	34	4.9%
合計	1105	—
回答者数	689	—

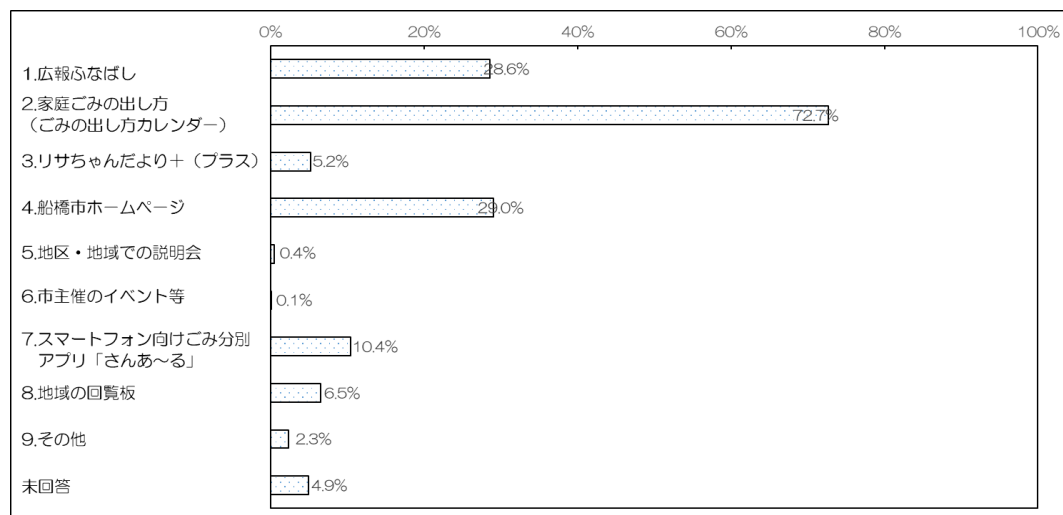


表 1-19 市が実施している取組の認知状況

選択肢	回答数	回答割合
1.清掃工場見学	188	27.3%
2.ふなR連携事業者認定制度	4	0.6%
3.ふれあい収集	26	3.8%
4.3010運動	16	2.3%
5.マイバック運動	199	28.9%
6.フードドライブ	62	9.0%
7.小型充電式電池の分別収集	167	24.2%
8.小型家電のボックスによる回収	209	30.3%
9.クリーン船橋530推進員	61	8.9%
10.生ごみ処理容器購入費助成制度	86	12.5%
11.クリーン船橋530の日	300	43.5%
12.船橋をきれいにする日	155	22.5%
13.全て知らない	161	23.4%
未回答	26	3.8%
合計	1660	—
回答者数	689	—

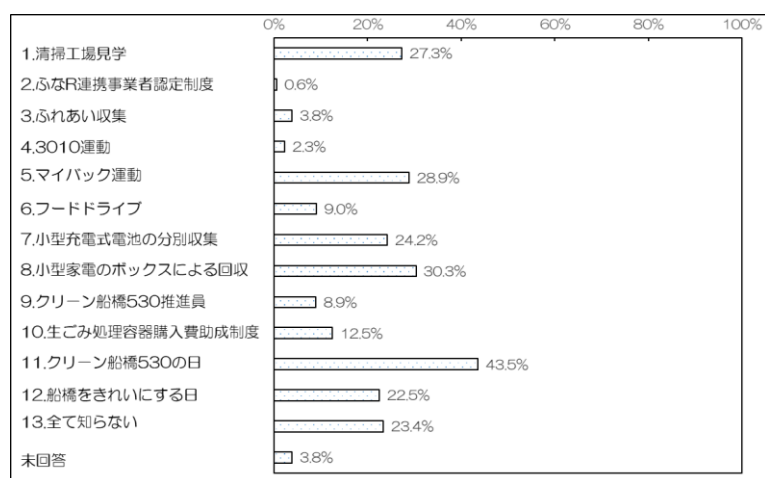


表 1-20 ごみに関する困りごと

選択肢	回答数	回答割合
1.ごみ出しの時間帯が合わない	46	6.7%
2.分別の仕方がわかりづらい	87	12.6%
3.カラス・猫などによりごみが荒らされる	145	21.0%
4.ごみ出しの時間・分別を守らない人がいる	122	17.7%
5.資源を持ち去る人がいる	59	8.6%
6.ペットボトル等の収集用袋の管理の当番制	30	4.4%
7.夜間収集による騒音	6	0.9%
8.高齢又は障害によりごみ出しが出来るものがない	1	0.1%
9.特になし	281	40.8%
10.その他	43	6.2%
未回答	54	7.8%
合計	820	—
回答者数	689	—

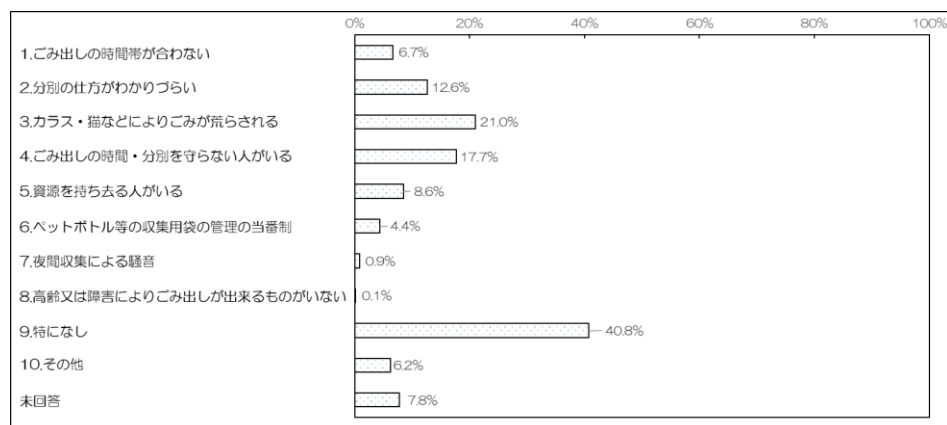


表 1-21 家庭から出る可燃ごみの有料化への意向

選択肢	回答数	構成比
1.実施すべき	124	18.0%
2.どちらかというを実施すべき	183	26.6%
3.実施すべきではない	157	22.8%
4.どちらかというを実施すべきではない	131	19.0%
5.わからない	75	10.9%
未回答	19	2.8%
合計	689	100.0%

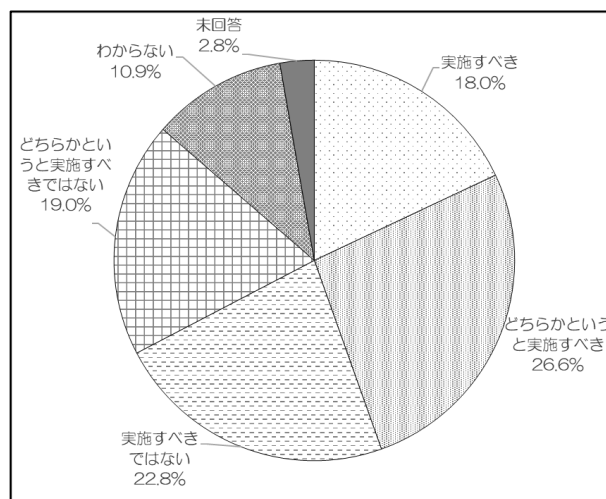


表 1-22 家庭から出る可燃ごみの有料化を実施すべき理由

選択肢	回答数	構成比
1.家庭での可燃ごみ減量の努力が負担額に反映し、公平化が図られるから	104	33.9%
2.可燃ごみの減量・資源化が進むことを期待するから	142	46.3%
3.新たなサービスの充実を期待するから	15	4.9%
4.市の財政負担を軽減するから	36	11.7%
5.その他	7	2.3%
未回答	3	1.0%
合計	307	100.0%

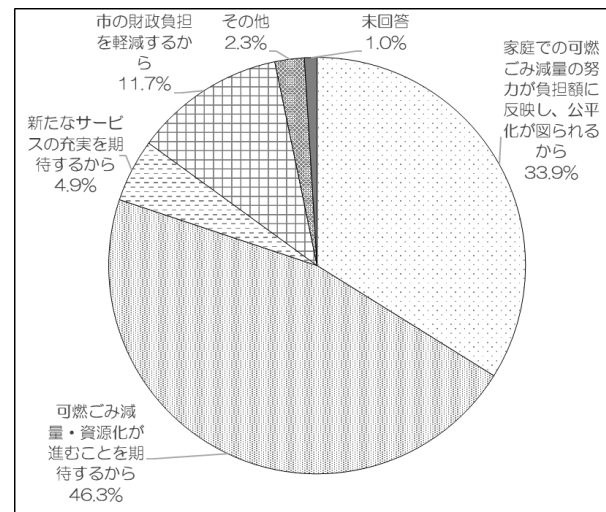


表 1-23 家庭から出る可燃ごみの有料化を実地すべきではない理由

選択肢	回答数	構成比
1.家計の経済的負担が増えるから	114	39.6%
2.不法投棄が増えそうだから	81	28.1%
3.ごみ処理費用は、税金の中から支出するべきだから	60	20.8%
4.可燃ごみの減量・資源化につながらないから	17	5.9%
5.その他	14	4.9%
未回答	2	0.7%
合計	288	100.0%

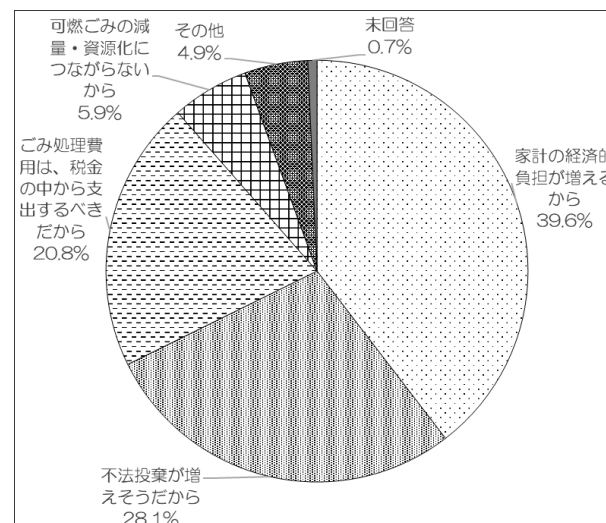


表 1-24 平日収集のみへの変更について

選択肢	回答数	構成比
1.変更すべき	206	29.9%
2.どちらかというに変更すべき	191	27.7%
3.変更すべきではない	67	9.7%
4.どちらかというに変更すべきではない	60	8.7%
5. わからない	142	20.6%
未回答	23	3.3%
合計	689	100.0%

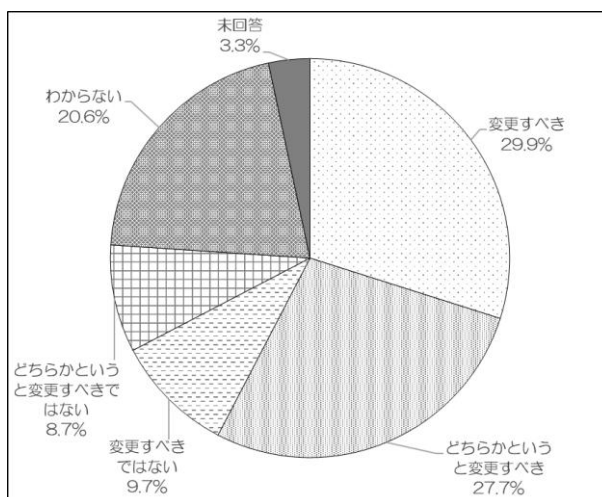


表 1-25 平日収集のみにする理由

選択肢	回答数	構成比
1.作業員の週休二日を確保でき、持続的な収集体制の維持に役立つから	265	66.8%
2.休日出勤等の減少により人件費削減に期待できるから	78	19.6%
3.土曜日の収集がないとゆっくり過ごせるから	10	2.5%
4.収集曜日が平日に統一されるから	31	7.8%
5.その他	12	3.0%
未回答	1	0.3%
合計	397	100.0%

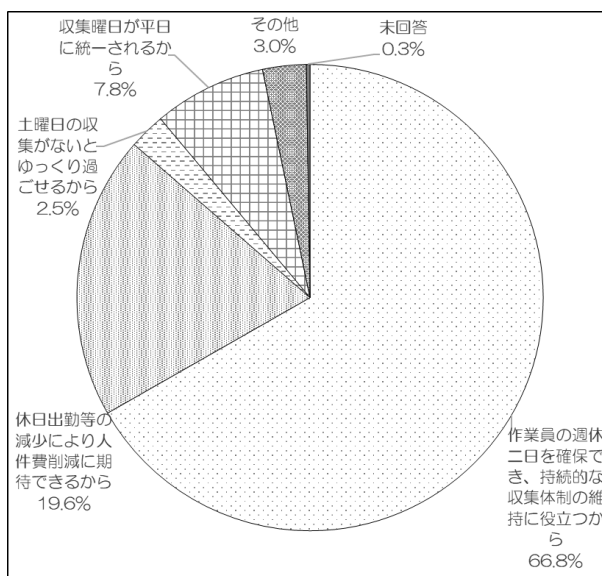


表 1-26 土曜日収集を継続する理由

選択肢	回答数	構成比
1.今の曜日で慣れており、変更すると不便だから	39	30.7%
2.週末に出す方が家庭の都合に合っているから	21	16.5%
3.平日にごみを出すのが難しいから	16	12.6%
4.現状の収集に不満を感じないから	38	29.9%
5.その他	11	8.7%
未回答	2	1.6%
合計	127	100.0%

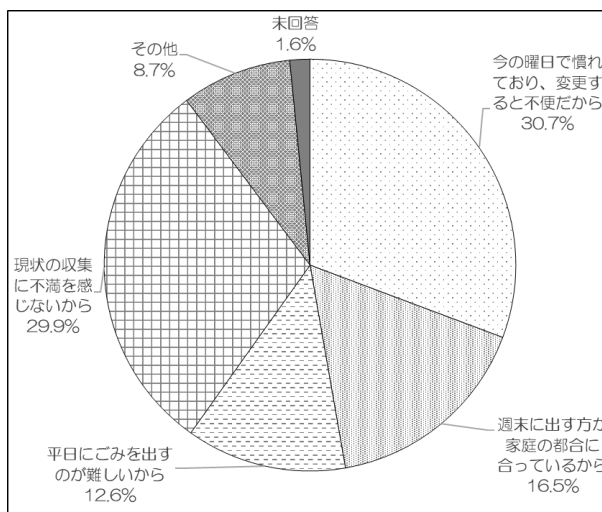


表 1-27 昼収集か夜間収集

選択肢	回答数	構成比
1.昼収集	329	47.8%
2.夜間収集	339	49.2%
未回答	21	3.0%
合計	689	100.0%

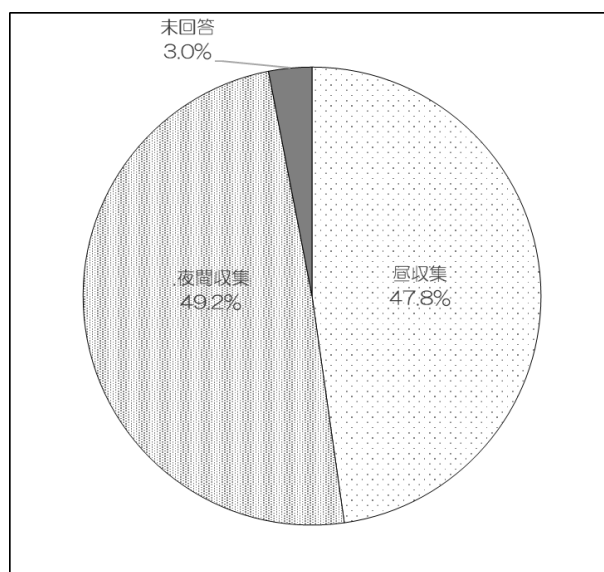


表 1-28 昼収集のみへの変更について

選択肢	回答数	構成比
1.変更すべき	135	19.6%
2.どちらかというに変更すべき	135	19.6%
3.変更すべきではない	107	15.5%
4.どちらかというに変更すべきではない	88	12.8%
5.わからない	197	28.6%
未回答	27	3.9%
合計	689	100.0%

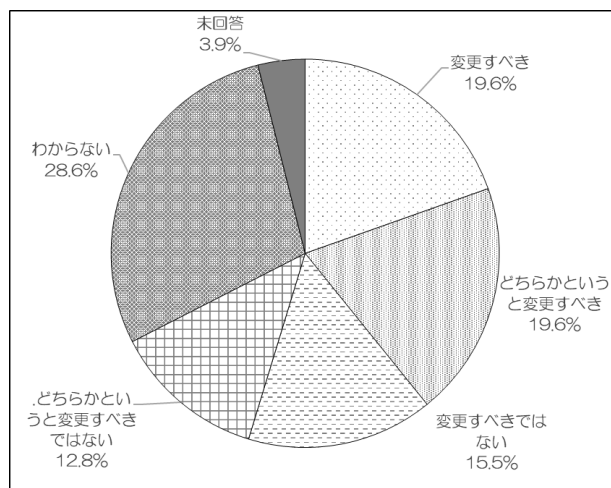


表 1-29 昼収集のみにする理由

選択肢	回答数	構成比
1.夜間の騒音が減り、地域の生活環境が改善されるから	44	16.3%
2.夜間収集の収集開始時間に合わせてごみを出せないから	28	10.4%
3.働き方改革により、人材確保等の安定的な収集体制につながるから	130	48.1%
4.昼間収集に変更することによる生活への影響が少ないから	55	20.4%
5.その他	10	3.7%
未回答	3	1.1%
合計	270	100.0%

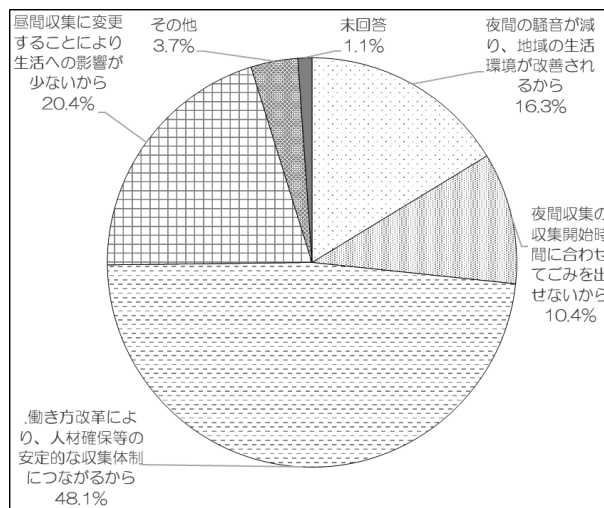


表 1-30 夜間収集を継続する理由

選択肢	回答数	構成比
1.昼間は、交通量が多く収集車両の通行が危険であり、渋滞も増えるから	28	14.4%
2.昼間収集の収集開始時間に合わせてごみを出せないから	33	16.9%
3.昼間はカラス・猫などによりごみが荒らされるから	40	20.5%
4.夜間収集で生活に支障がないため、変更する必要を感じないから	79	40.5%
5.その他	12	6.2%
未回答	3	1.5%
合計	195	100.0%

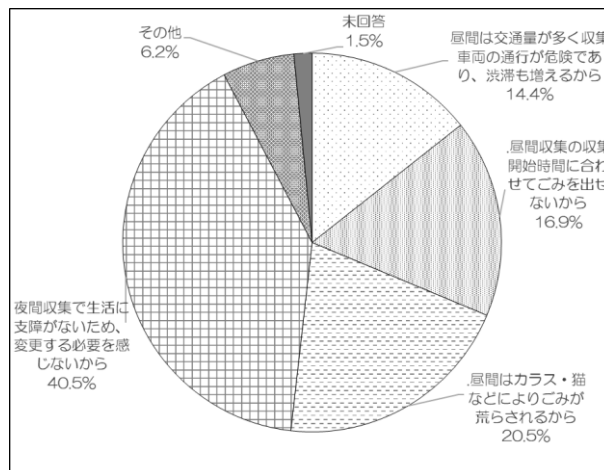


表 1-31 プラスチック類の分別収集について

選択肢	回答数	構成比
1.実地すべき	126	18.3%
2.どちらかというと実施すべき	165	23.9%
3.実施すべきではない	135	19.6%
4.どちらかというと実施すべきではない	160	23.2%
5.わからない	80	11.6%
未回答	23	3.3%
合計	689	100.0%

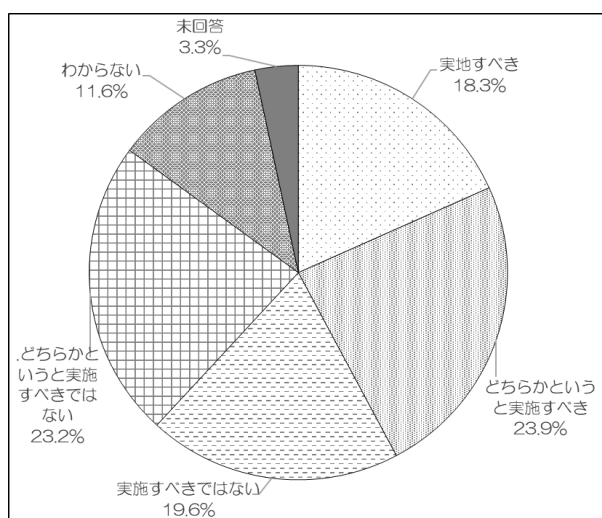


表 1-32 プラスチック類の分別収集を実施すべき理由

選択肢	回答数	構成比
1.二酸化炭素の排出量が削減されるから	99	34.0%
2.天然資源の使用が抑制されるから	18	6.2%
3.多くの自治体で実施しているから	19	6.5%
4.資源化可能なものは全て資源化すべきだから	91	31.3%
5.ごみ減量につながるから	57	19.6%
6.その他	5	1.7%
未回答	2	0.7%
合計	291	100.0%

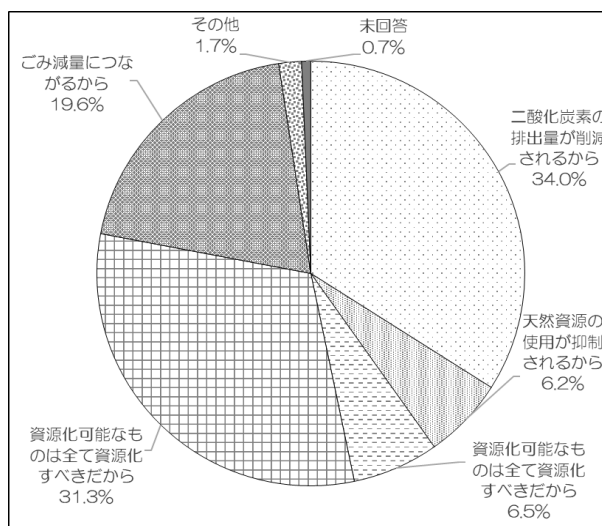


表 1-33 プラスチック類の分別収集を実施すべきではない理由

選択肢	回答数	構成比
1.排出ルールが面倒そうだから	42	14.2%
2.分別が何かわかりにくいから	51	17.3%
3.家庭内に保管するスペースがないから	25	8.5%
4.家庭内で分別区分が多すぎて対応できないから	41	13.9%
5.プラスチックに資源化される率が低いから	29	9.8%
6.焼却してエネルギー回収・利用した方が良いから	81	27.5%
7.収集運搬費等のコストがかかるから	17	5.8%
8.その他	9	3.1%
未回答	0	0.0%
合計	295	100.0%

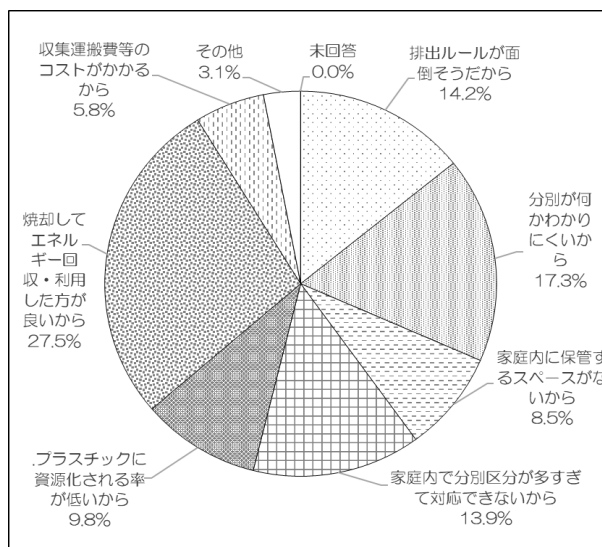


表 1-34 食品ロスの認知状況

選択肢	回答数	構成比
1.言葉も意味も知っていた	629	91.3%
2.言葉は知っていたが、意味は知らなかった	34	4.9%
3.知らなかった	7	1.0%
未回答	19	2.8%
合計	689	100.0%

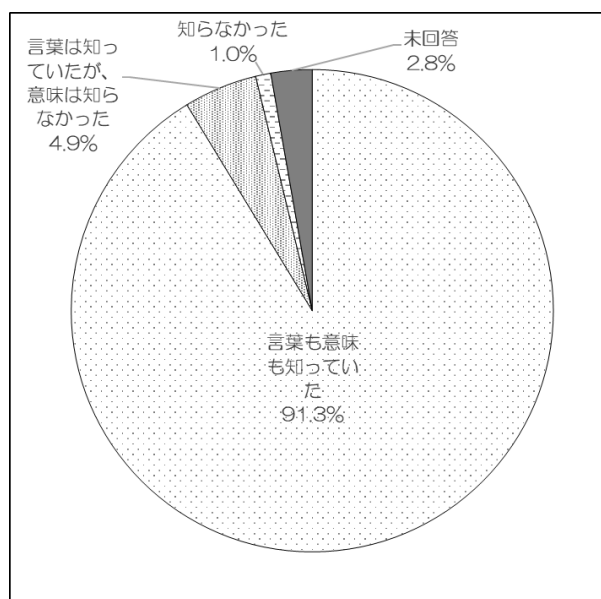


表 1-35 食品ロス削減のための家庭での取組

選択肢	回答数	回答割合
1.買い物前には、冷蔵庫の中身などを確認してから買い物に行く	440	63.9%
2.調理するときには、食べきれる量だけ作る	352	51.1%
3.皮や脂など、必要以上に取り除かないように注意し、食材を無駄なく使うようにしている	126	18.3%
4.ばら売りや、量り売り、少量パック等を必要に応じて利用している	222	32.2%
5.冷蔵庫の機能（チルド室やパーシャル室等）をうまく使い分け、保存方法を工夫している	305	44.3%
6.賞味期限や消費期限をこまめに確認している	367	53.3%
7.残さずに食べるようにしている	456	66.2%
8.余った商品や食べきれない食品はフードバンク等に提供している	16	2.3%
9.その他	24	3.5%
未回答	22	3.2%
合計	2330	—
回答数	689	—

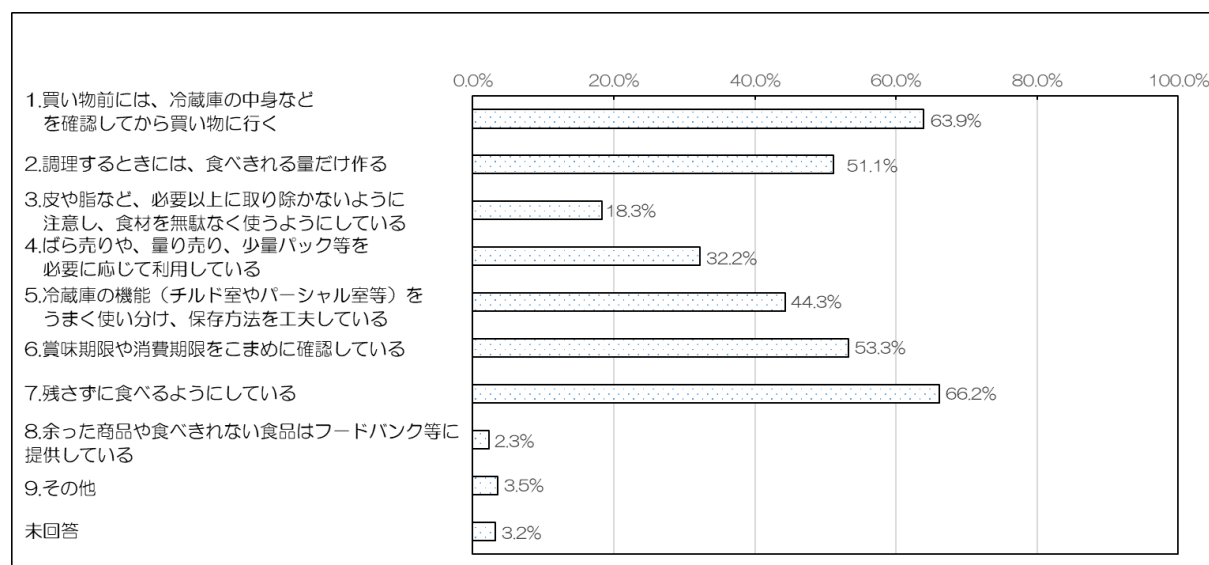


表 1-36 食品ロス削減のための外食時での取組

選択肢	回答数	回答割合
1.小盛のメニューなどを活用し、 食べきれる量を頼んでいる	467	67.8%
2.宴会時等の最初は、まず料理を食べるなど食べ 残しを減らすよう意識している（3010運動）	87	12.6%
3.持ち帰りができる場合には、積極的に利用している	233	33.8%
4.その他	41	6.0%
未回答	57	8.3%
合計	885	—
回答者数	689	—

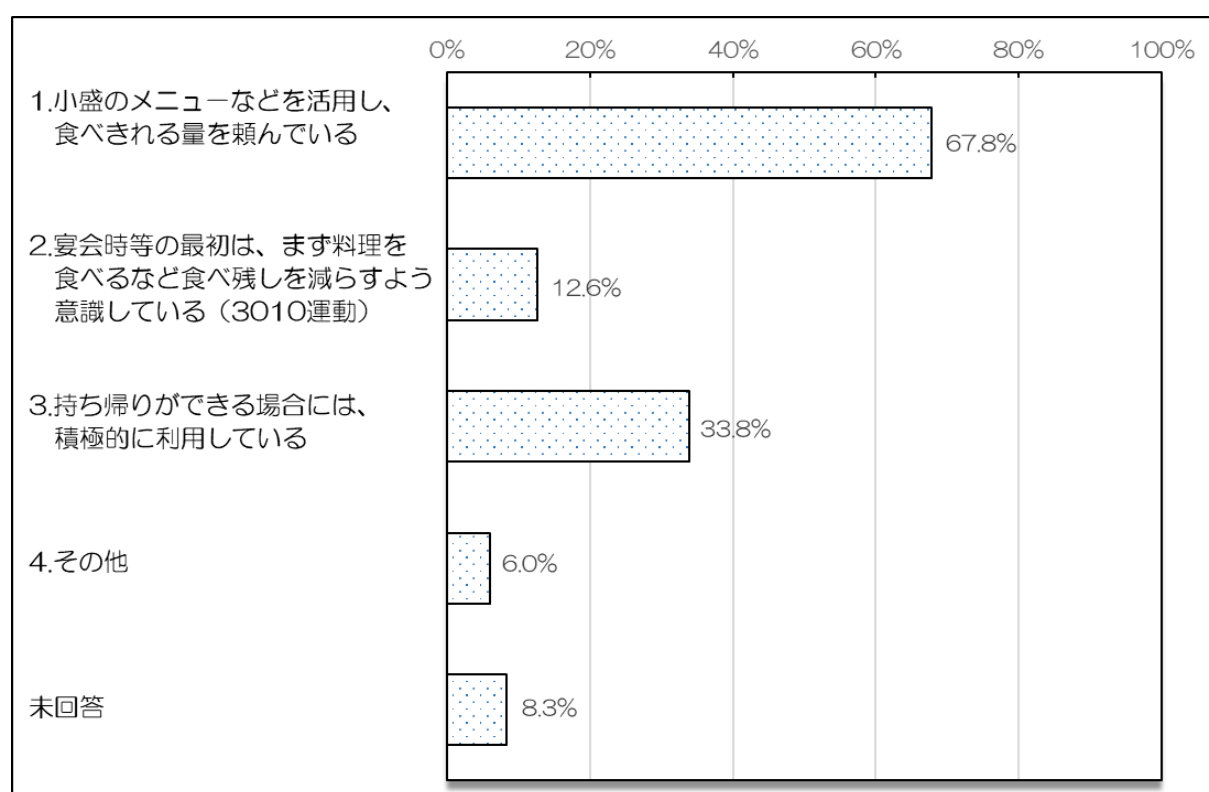


表 1-37 現在実施している取組及び今後実施予定の取組

選択肢	現在		今後	
	回答数	回答割合	回答者数	回答割合
1.不要なものや無駄なものは、なるべく買わないようにしている	594	86.2%	124	18.0%
2.過剰包装は断るようになっている	445	64.6%	156	22.6%
3.買い物にはマイバック等を持参し、レジ袋をもらわないようにしている	620	90.0%	101	14.7%
4.シャンプーなどの製品は詰め替え商品を購入するよう心がけている	633	91.9%	97	14.1%
5.食べ残しをしない、食べ残しを減らすため、調理に工夫をするようにしている	538	78.1%	115	16.7%
6.生ごみ水切りや堆肥化など、生ごみの減量化に心がけている	290	42.1%	218	31.6%
7.「エコマーク」商品などの環境にやさしいものを選ぶようにしている	137	19.9%	280	40.6%
8.マイ箸、マイボトルなどを持ち歩くようにしている	361	52.4%	186	27.0%
9.ものが壊れた時は、なるべく修理してもらうようにしている	321	46.6%	183	26.6%
10.ジモティースポットなどのリユースショップを活用している	84	12.2%	261	37.9%
11.リサイクルショップを活用している	213	30.9%	210	30.5%
12.ごみと資源物の分別を徹底している	424	61.5%	173	25.1%
13.食品を余らせないように、毎日の献立を考えながら買い物をしている	475	68.9%	123	17.9%
14.その他	19	2.8%	6	0.9%
15.特に何もしていない	4	0.6%	1	0.1%
未回答	17	2.5%	191	27.7%
合計	5175	—	2425	—
回答者数	689	—	689	—

